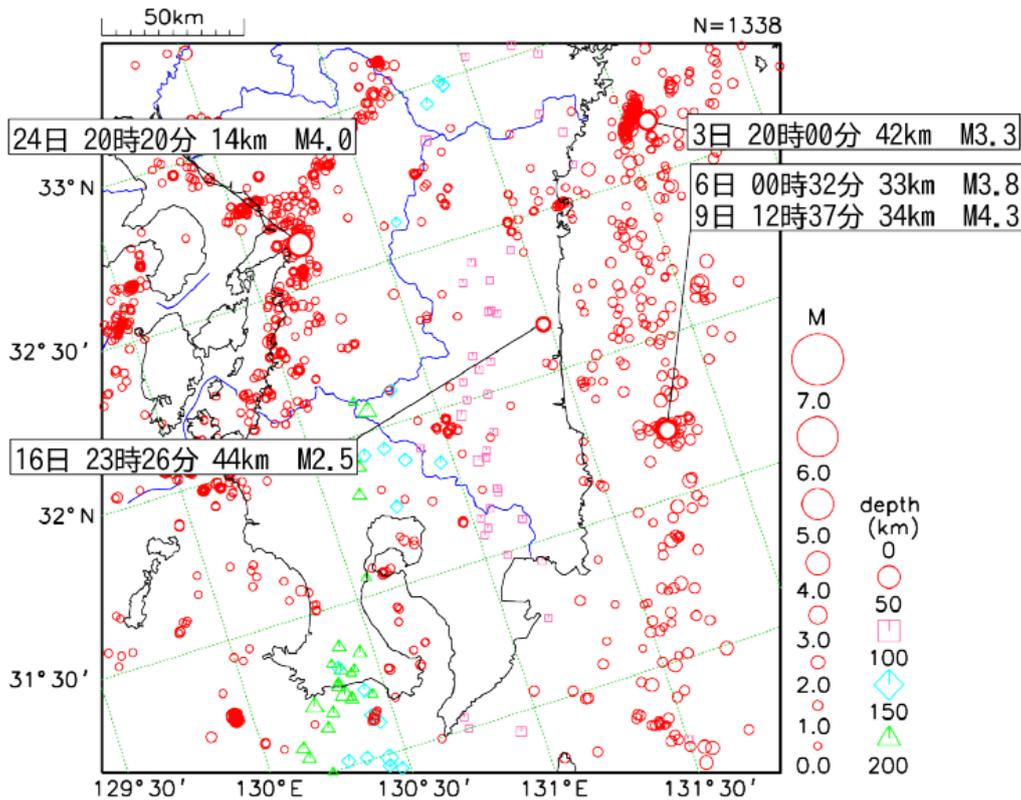


# 宮崎県の地震活動概況（2022年11月）

令和4年12月8日  
宮崎地方気象台

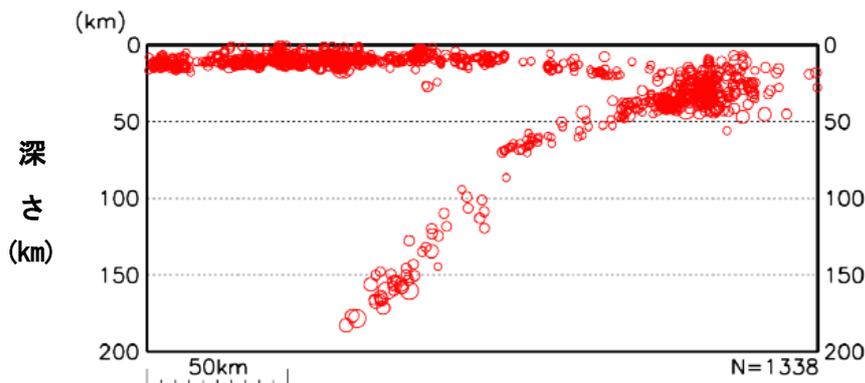
## 【地震活動の概要】

11月に宮崎県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回（10月は1回）でした。



## 震央分布図（2022年11月1日～30日、M0.0以上、深さ200km以浅）

地震の規模（マグニチュードM）は記号の大きさで、震源の深さを記号と色で示しています。宮崎県で震度1以上を観測した地震に吹き出しをつけています。



## 断面図（震央分布図の投影、深さ200km以浅）

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

### 3日 日向灘を震源とする地震

3日20時00分に発生したM3.3の地震(深さ42km)により、宮崎県の延岡市、門川町で震度1を観測したほか、大分県で震度1を観測しました(図1)。

今回の地震の震源付近(図3領域b)は、日頃から地震活動がみられる領域で、2022年1月22日にはM6.6の地震(深さ45km、最大震度5強)が発生し、県内では延岡市、高千穂町で震度5強を観測しました(図2~4)。

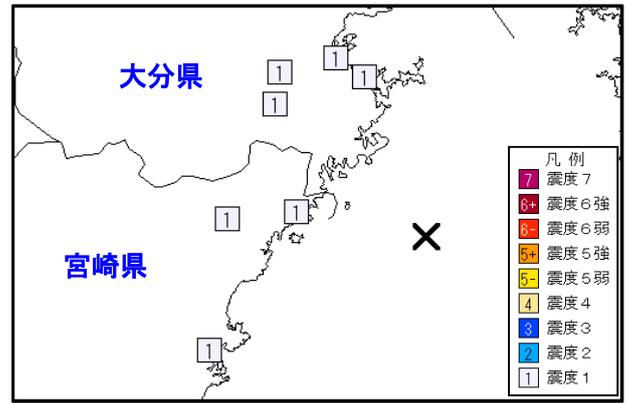


図1 震度分布図(観測点別、×:震央)

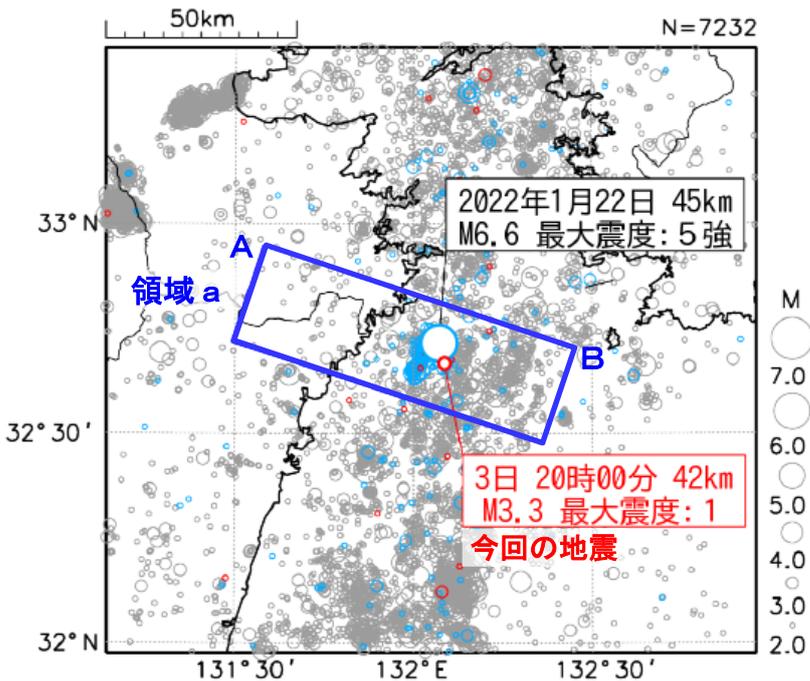


図2 震央分布図

(1997年10月1日~2022年11月30日、深さ0~100km、M $\geq$ 2.0)  
※1997年10月1日以降の地震を灰色で  
2022年1月22日以降の地震を薄青色で  
2022年11月以降の地震を赤色で表示

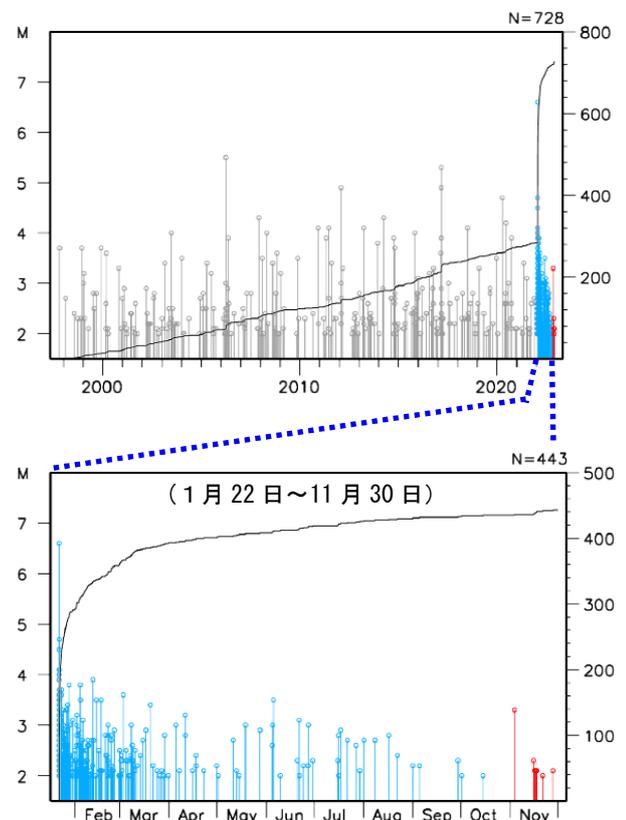


図4 図3領域b内の地震活動経過図および回数積算図

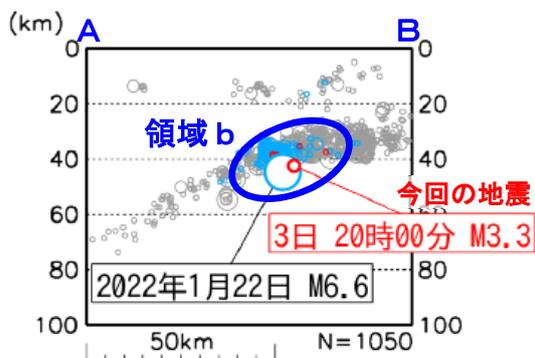
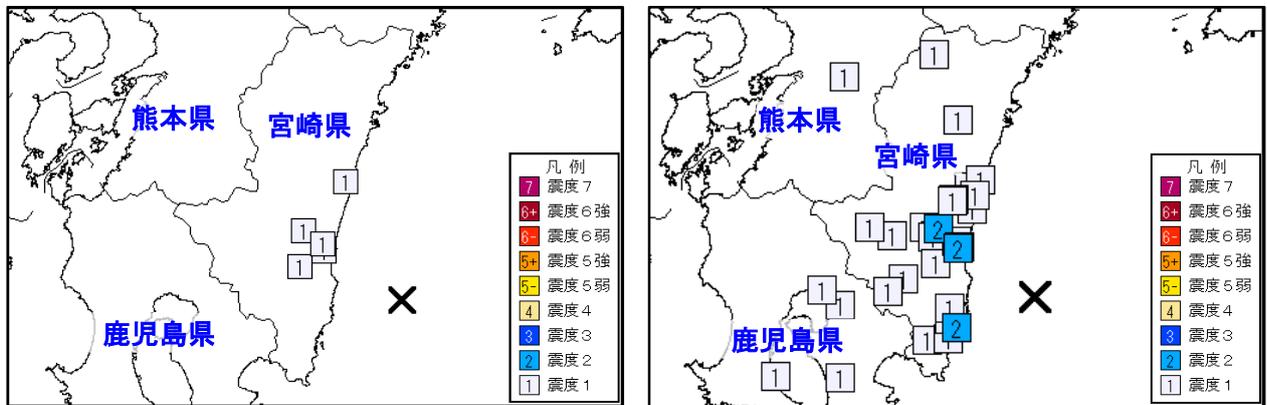


図3 図2領域a内の断面図(A-B投影)

## 6日、9日 日向灘を震源とする地震

6日00時32分に発生したM3.8の地震（深さ33km、今回の地震①）により、宮崎県の宮崎市、川南町、国富町で震度1を観測しました（図5）。また、ほぼ同じ場所で9日12時37分に発生したM4.3の地震（深さ34km、今回の地震②）により、宮崎県の宮崎市、日南市、国富町で震度2を観測したほか、宮崎県、熊本県、鹿児島県で震度1を観測しました（図5）。

今回の地震の震源付近（図7領域b）は、日頃から地震活動が見られる領域です（図8）。最近では2022年8月23日にM3.4の地震（深さ25km、最大震度1）が発生し、県内では宮崎市で震度1を観測しました。また、2019年5月10日にはM6.3の地震（深さ25km、最大震度5弱）が発生し、県内では、宮崎市、都城市で震度5弱を観測しました（図6～8）。



今回の地震① 6日00時32分M3.8（観測点別） 今回の地震② 9日12時37分M4.3（観測点別）

図5 震度分布図（×：震央）

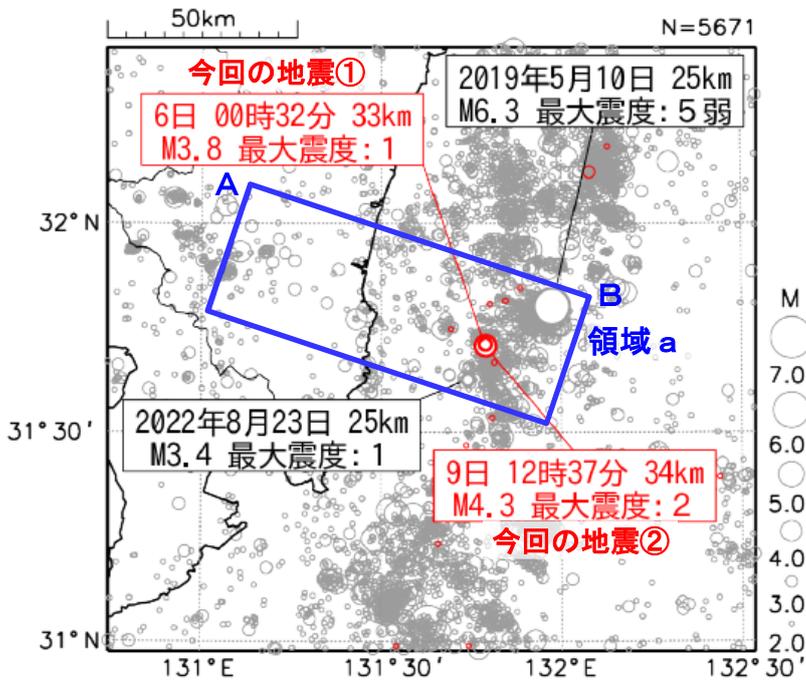


図6 震央分布図

(1997年10月1日～2022年11月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ )  
※2022年11月以降の地震を赤色で表示

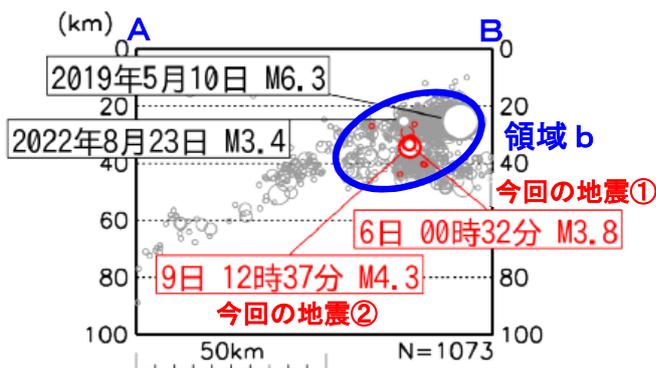


図7 図6領域a内の断面図 (A-B投影)

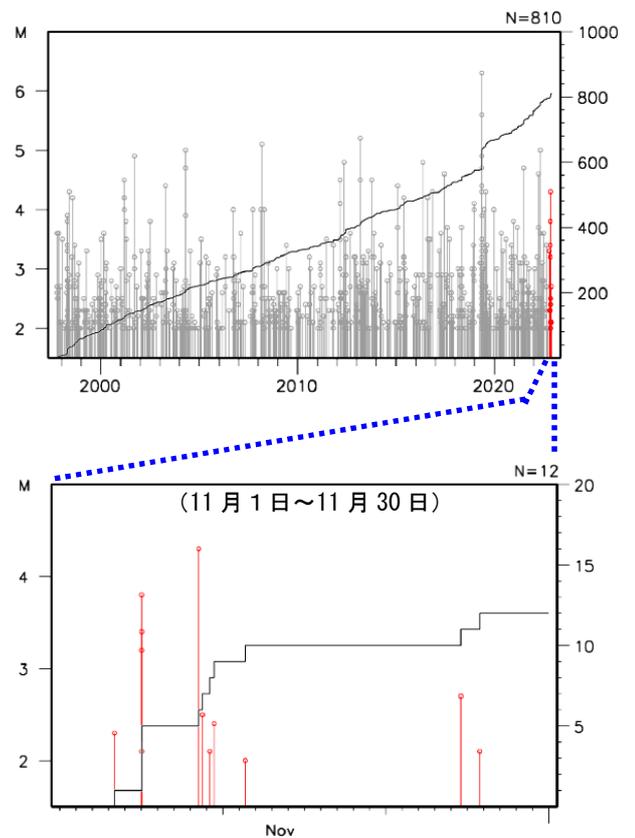


図8 図7領域b内の地震活動経過図  
および回数積算図

### 16日 宮崎県北部平野部を震源とする地震

16日 23時26分に発生した M2.5 の地震（深さ 44km）により、宮崎県西都市で震度1を観測しました（図9）。

今回の地震の震源付近（図11領域b）は、日頃から地震活動がみられる領域で、2021年3月28日に発生した M3.3 の地震（深さ 38km、最大震度1）により、県内では、宮崎市、小林市、西都市、高千穂町で震度1を観測しました（図10～12）。

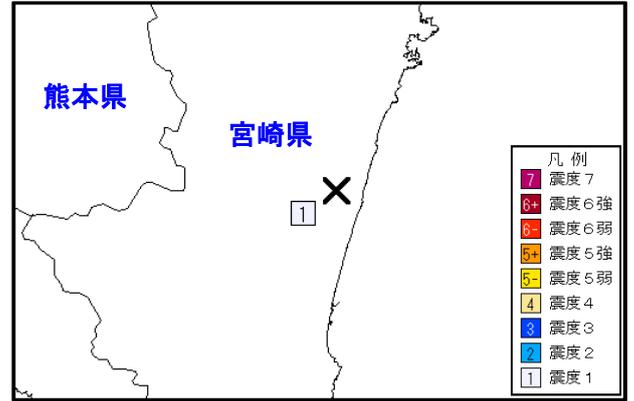


図9 震度分布図（観測点別、×：震央）

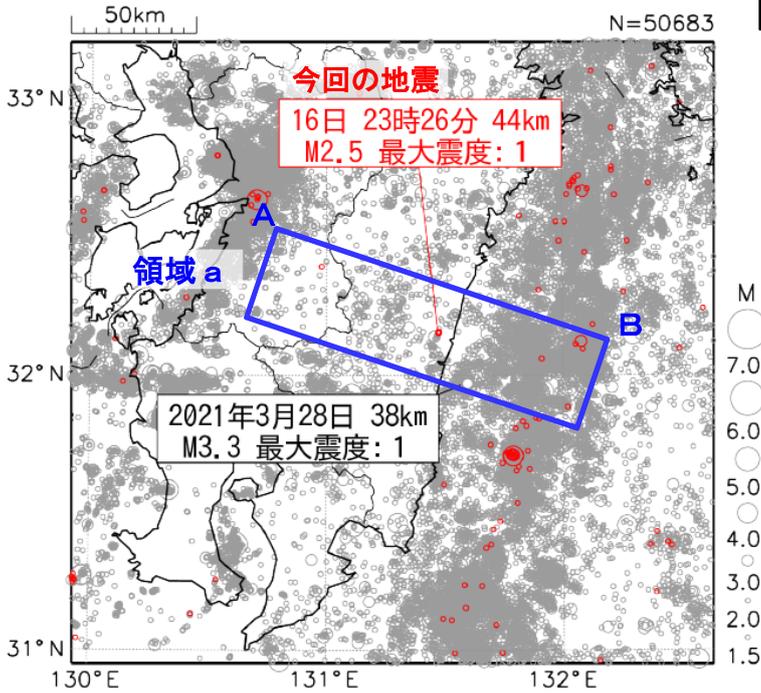


図10 震央分布図

(1997年10月1日～2022年11月30日、深さ0～100km、M≥1.5)  
※2022年11月以降の地震を赤色で表示

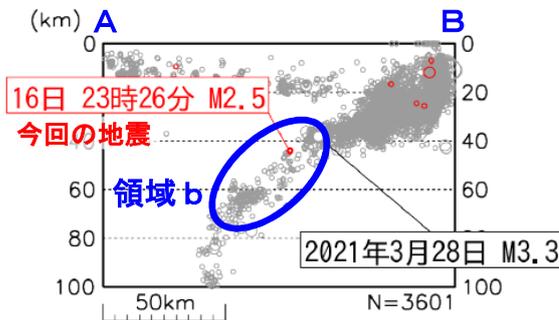


図11 図10領域a内の断面図（A－B投影）

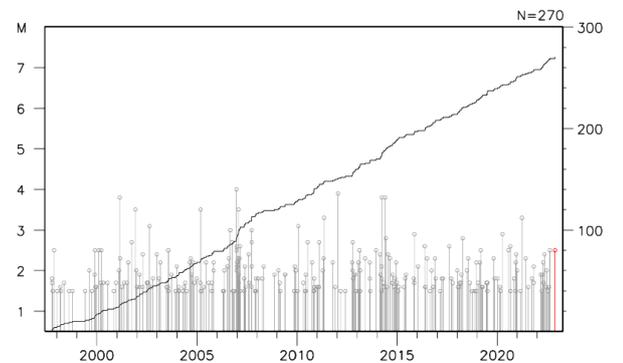
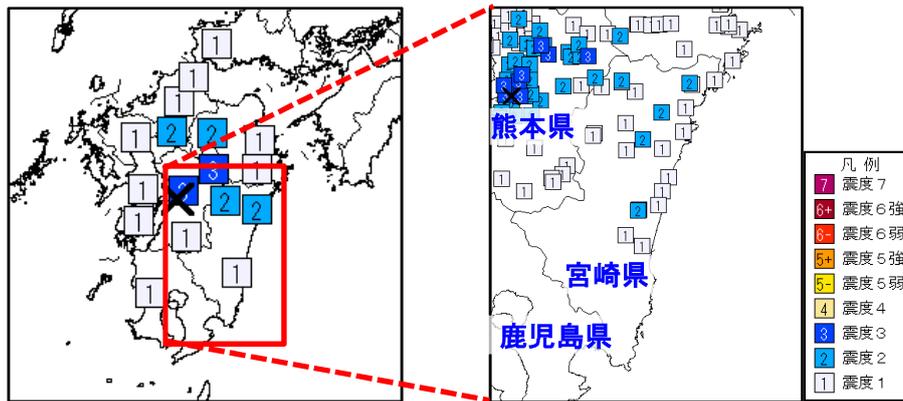


図12 図11領域b内の地震活動経過図および回数積算図

### 24日 熊本県熊本地方を震源とする地震

24日 20時20分に発生したM4.0の地震（深さ14km）により、熊本県で震度3を観測したほか、九州地方及び山口県で震度2～1を観測しました。県内では、延岡市、西都市、高千穂町、美郷町で震度2を観測しました（図13）。

今回の地震の震源付近（図14領域a）では、「平成28年（2016年）熊本地震」が発生しており、最近では2022年6月26日に発生したM4.7の地震（深さ9km、最大震度5弱）により、県内では、延岡市、椎葉村で震度3を観測しました（図14～15）。



今回の地震 24日 20時20分 M4.0（左：地域別、右：観測点別）

図13 震度分布図（×：震央）

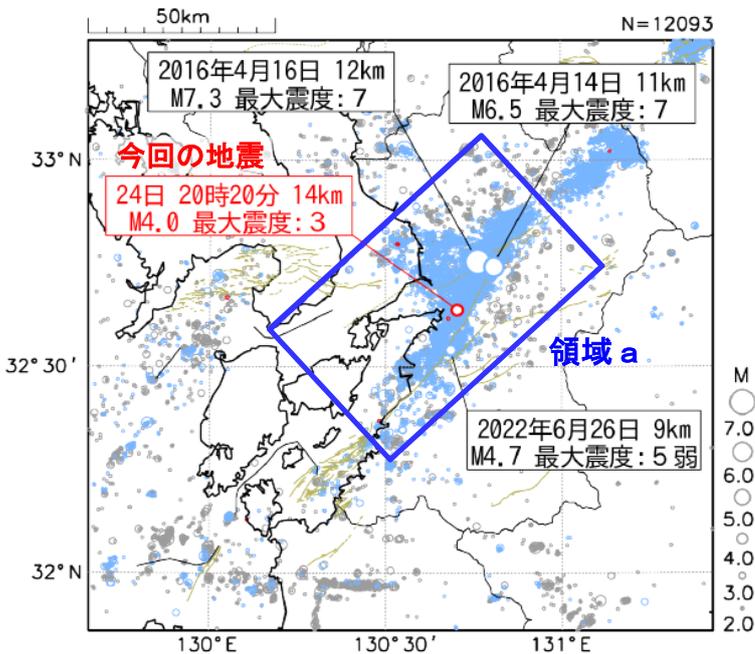


図14 震央分布図

（1997年10月1日～2022年11月30日、深さ0～20km、M≥2.0）

※1997年10月1日以降の地震を灰色で  
2016年4月14日以降の地震を薄青色で  
2022年11月以降の地震を赤色で表示

※図中の茶色線は地震調査研究本部の長期評価による活断層を示す。

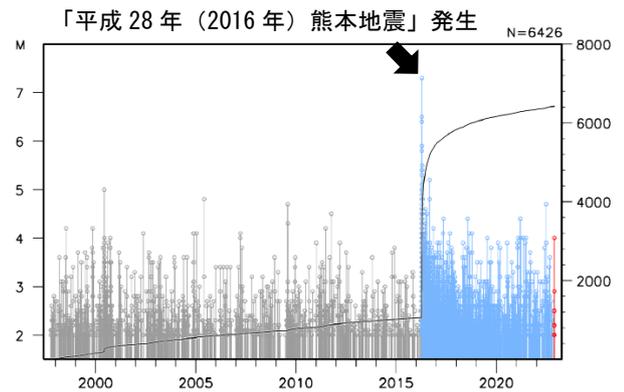


図15 図14領域a内の地震活動経過図および回数積算図

## 宮崎県内で震度1以上を観測した地震の表 (11月1日～30日)

震源時 (年月日時分) 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード*
2022年11月03日20時00分 震度 1 : 延岡市北川町川内名白石*, 延岡市北浦町古江*, 門川町平城東*	日向灘	32° 40.0' N	132° 05.2' E	42km	M3.3
2022年11月06日00時32分 震度 1 : 川南町川南*, 宮崎市霧島, 宮崎市松橋*, 宮崎市田野町体育館*, 国富町本庄*	日向灘	31° 42.6' N	131° 47.3' E	33km	M3.8
2022年11月09日12時37分 震度 2 : 宮崎市松橋*, 宮崎市橘通東*, 日南市油津, 国富町本庄* 震度 1 : 西都市上の宮*, 西都市聖陵町*, 高鍋町上江*, 新富町上富田, 川南町川南*, 木城町高城*, 高千穂町三田井, 宮崎美郷町田代*, 宮崎市霧島, 宮崎市田野町体育館*, 宮崎市高岡町内山*, 日南市北郷町大藤, 日南市吾田東*, 日南市南郷町南町*, 串間市奈留, 綾町南俣健康センター*, 都城市菖蒲原, 都城市山之口町花木*, 小林市真方, 小林市野尻町東麓*	日向灘	31° 42.4' N	131° 47.4' E	34km	M4.3
2022年11月16日23時26分 震度 1 : 西都市上の宮*	宮崎県北部平野部	32° 09.3' N	131° 28.6' E	44km	M2.5
2022年11月24日20時20分 震度 2 : 延岡市北川町川内名白石*, 延岡市北方町卯*, 西都市上の宮*, 高千穂町三田井, 宮崎美郷町田代* 震度 1 : 延岡市天神小路, 延岡市北川町総合支所*, 延岡市北浦町古江*, 日向市東郷町山陰*, 西都市聖陵町*, 高鍋町上江*, 川南町川南*, 宮崎都農町役場*, 門川町平城東*, 諸塚村家代*, 椎葉村総合運動公園*, 椎葉村下福良*, 高千穂町寺迫*, 日之影町七折*, 五ヶ瀬町三ヶ所*, 宮崎美郷町神門*, 宮崎市霧島, 国富町本庄*	熊本県熊本地方	32° 28.3' N	130° 42.3' E	14km	M4.0

1) 使用した震源要素等は暫定値であり、後日修正することがあります。

\*は地方公共団体または、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。

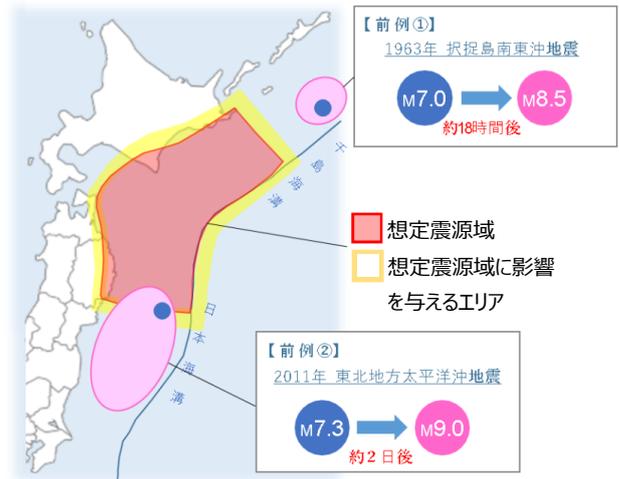
## 北海道・三陸沖後発地震注意情報について

令和4年12月16日から、北海道・三陸沖後発地震注意情報の運用を開始します。

## ▶北海道・三陸沖後発地震注意情報とは？

日本海溝・千島海溝沿いの領域では、モーメントマグニチュード(Mw)7クラスの地震が発生した後に、更に大きなMw8クラス以上の大規模な地震が発生した事例が2事例確認されています(右図)。

巨大地震が発生した際の甚大な被害を少しでも軽減するため、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域とその周辺でMw7以上の地震が発生した場合には、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発信し、大地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まっているとして、後発地震への注意を促します。



「日本海溝・千島海溝沿いの後発地震への注意を促す情報発信に関する検討会報告書の公表等について」  
(気象庁 HP)

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2211/08b/20221108.html>

「北海道・三陸沖後発地震注意情報の解説ページ」(内閣府 HP)

[https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko\\_chishima/hokkaido/index.html](https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/index.html)

## ▶西日本では南海トラフ地震に備えましょう

西日本においては、南海トラフ沿いで大地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まったと評価された場合に、「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。

南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくありません。南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性がありますので、大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。

## 地震の発生に備えよう



「南海トラフ地震について」(気象庁 HP)

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/index.html>